

第28回
サイエンスカフェえひめ

秋をいろどる キク科の植物 たち



里地、野山、浜辺など、各所でノギクが紅葉に彩りを添える季節です。素朴ながら気高い花は、古来より愛でられてきました。でも、けっこう種類の同定は難しく、名前はちょっと…ということも多いのでは？身近な種類の特徴・見分け方と分布、そして、キクの魅力をご案内します。

日時 平成30年

11月20日(火)
19:00~20:30

場所 愛媛大学 松山市文京町3番
愛大ミュージアム (ミュージアムがある建物)
1F ミュージアム多目的室

対象 自然に関心がある人 30人

参加費 200円

◆話題提供 松井 宏光さん

1952年福山市出身、広島大学理学部生物学科卒業。松山東雲短期大学名誉教授。森からつづく道代表。主に愛媛県内をフィールドにして、森林群落や植物分布の調査、希少種保全などに取り組んでいる。

【お申し込み】 お名前、電話番号、e-mailアドレス (お持ちの場合) を明記の上、下記連絡先までお申し込みください。(個人情報は適正に管理し、当事業関係のご連絡にのみ使用します。)

NPO 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

FAX: 089-992-9152

主催: NPO 森からつづく道
後援: 愛媛大学ミュージアム



写真(上より) ●ノジギク(狩浜) ●ヨメナ(北条、雄甲山・雌甲山) ●シマカンギク(新居浜、清滝対岸) ●イオアブラギク(北条、雄甲山・雌甲山)